

## 平成30年度第2回自治体等FM連絡会議多摩地域会の開催報告

多摩地域会代表幹事 東村山市経営政策部資産マネジメント課  
施設再生推進担当 古田 和男

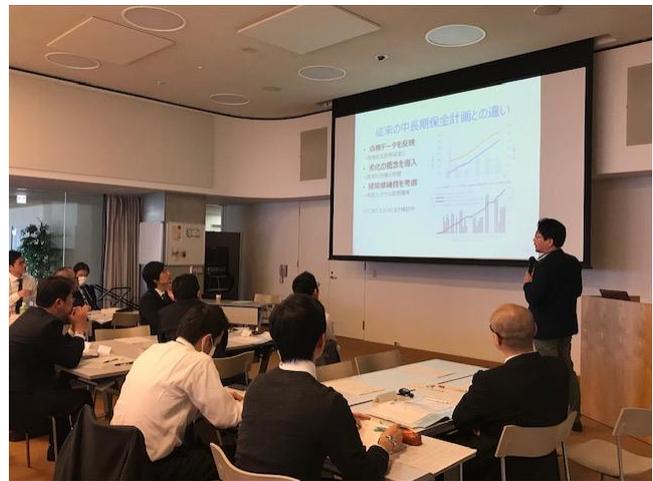
**開催日時** 平成31年2月4日（月） 午後1時30分から午後4時30分まで  
**開催場所** 武蔵野プレイス フォーラム（東京都武蔵野市）  
**参加者数** 56人  
**内容報告**

### 1 講演「地域を持続可能にする公共資産経営の支援体制の構築に向けて

～多世代共創による公共施設マネジメントの取り組み～

**講師** 前橋工科大学工学部 建築学科 准教授 堤 洋樹 氏

公共施設マネジメントを円滑に推進するための、自治体職員任せではなく地域全体で公共資産整備を共創する仕組みや、地域を活性化し豊かな地域生活を実現するため、公共資産整備を継続させる体制について、ご講義頂きました。施設カルテや簡易財務評価などの情報を、自治体職員や住民、事業者も含め収集・共有できる情報システムの必要性や、そのシステム運用に関する人材育成、住民参加推進のための知識や手法の提供、政策決定の方向性や手法に関する提案等を担う、外部の支援組織の有用性、公共施設の利用価値を可視化する方法として、利用者の便益を貨幣価値に換算して資産価値を算出する方法などについて説明を頂き、今後の公共施設マネジメントの推進に、大いに参考となる知見を得ることが出来ました。



### 2 構成市による取組事例紹介

「羽村市の公共施設マネジメントの取組みについて ～指定管理者制度の導入事例～」

**講師** 羽村市企画総務部企画政策課主査 並木 政人 氏



羽村市では様々な特徴ある施策を行なっていますが、今回は、指定管理者制度の導入事例として、羽村市動物公園の指定管理についてご紹介頂きました。同園は、平成20年度から指定管理者制度を導入し、現在は株式会社横浜八景島が指定管理者となっています。導入の効果としては、経費の削減などのほか、「童話の動物園」として童話のシーンを再現した展示方法や、グループ企業との協力による、展示ケースの一部へのアイスホッケー場の亚克力板再利用など、民間のアイデアによる

工夫がありました。そのほか、今後の更なる行政と民間の連携に向けての課題などをご説明頂きました。

### 3 職員同士の意見交換



4～6人程度のグループで、各自治体の職員同士の意見交換を行ないました。今回は、事前に希望テーマを選択し、関心のある分野について意見交換ができるよう席配置を行いました。アンケートの希望もあり、40分程度と長めの時間を配分しましたが、活発に情報交換がされ、有意義な時間となりました。

### 4 その他

終了後のアンケートでは、堤氏の講演について、「住民とのワークショップは有意義ではあるが難しい。今回の講演で少し整理できそう。」、「情報の管理及び活用の重要性を再認識した。様々な検討の土台をとなるのは数値等のデータであると思った。」、「住民と行政の間に入ることができる支援組織の必要性を感じた。先に絵を見せる重要性を認識した。」など、今後の取組を進めていく上で、参考になった旨の意見を多くいただきました。また、構成市による取組事例紹介についても、「指定管理者をうまく活用し、サービス向上に成功していると感じた。」、「課題部分について掘下げた話をもう少し聞きたかった。」などの声を頂き、他の構成市の取り組み状況を参考にしたいという需要は一定あったと思っています。職員同士の意見交換については、前回に引き続き、生の声を直接聴くことができ、参考になったという意見、時間が短かったという意見などがあり、今後さらに工夫していきたいと思います。

今回の地域会では、公共施設マネジメントを推進するための方策について、様々な角度からご教示頂きました。今後、個別施設計画策定や公共施設の再編、計画的な維持管理の仕組みづくりなど、各参加自治体に取り組んでいく課題は多岐にわたりますが、その最前線で取り組む職員同士での交流や、実践的な情報共有の場となるよう、引き続き多摩地域会を開催したいと考えております。今後ともみなさまのご支援、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。